

平成30年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省30-⑰)

施策目標		17 自動車の安全性を高める					担当部局名	自動車局			作成責任者名	技術政策課長 江坂 行弘		
施策目標の概要及び達成すべき目標		車両安全対策を実施し自動車の安全性を向上させることにより、平成30年を目処に交通事故死者数を2,500人以下に減少させる。					施策目標の評価結果			政策体系上の位置付け	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保		政策評価実施予定時期	平成31年8月
業績指標		初期値	実績値					評価結果	目標値	目標年度	業績指標の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等			
		目標値設定年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度							
66 大型貨物自動車の衝突被害軽減ブレーキの装着率		54.4%	平成24年度	54.4%	59.5%	60.3%	66.1%	76%	90.0%	平成32年度	車両安全対策の一環として衝突被害軽減ブレーキの普及促進を図り、過去の装着台数実績より平成32年度までに90.0%の装着台数が見込まれるものとして設定したものの。			
達成手段(開始年度)	30年度行政事業レビュー事業番号	予算額計(執行額)			30年度当初予算額(百万円)	達成手段の概要				関連する業績指標番号	達成手段の目標(30年度)(上段:アウトプット、下段:アウトカム)			
(1) 車両の安全対策(昭和39年度)	0197	240 (220)	293 (274)	435 (415)	446 -	自動車等の技術に関して基準の国際標準化を推進するために、自動車の国際基準の策定に必要な基礎調査を実施するとともに、自動車の安全基準の拡充・強化及び先進安全自動車(ASV)の開発・実用化に必要な技術評価等の調査を行う。				-	調査研究の件数 交通事故死者数			
(2) (独)自動車技術総合機構運営費交付金(平成13年度)	0198	2,825 (2825)	3,174 (3174)	3,237 (3237)	3,192 -	自動車が保安基準に適合するかどうかの審査、自動車技術等に関する試験、調査、研究及び開発等を総合的に行うことにより、自動車運送等に関する安全の確保、公害の防止その他の環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保を図るための調査、研究及び開発等を遂行させる。				-	建替、改修等の箇所、分析等の件数、実施した研究テーマ数 受検者等の人身事故数、検査機器の故障等による閉鎖時間。整備実施件数、不具合情報の分析件数、			
(3) (独)自動車技術総合機構施設整備費(平成13年度)	0199	3,741 (3601)	3,665 (3,623)	3,998 (3,465)	4,159 -	自動車が保安基準に適合するかどうかの審査、自動車技術等に関する試験、調査、研究及び開発等を総合的に行うことにより、自動車運送等に関する安全の確保、公害の防止その他の環境の保全及び燃料資源の有効な利用の確保等に資する調査、研究及び開発等を遂行させるための施設等を整備する。				-	建替、改修等の箇所、施設整備費執行額 受検者等の人身事故数、検査機器の故障等による閉鎖時間。整備実施件数、			
施策の予算額・執行額		6,068 (5,880)	6,574 (6,307)	6,876	6,518	施策に関係する内閣の重要政策(施策方針演説等のうち主なもの)								
備考														